



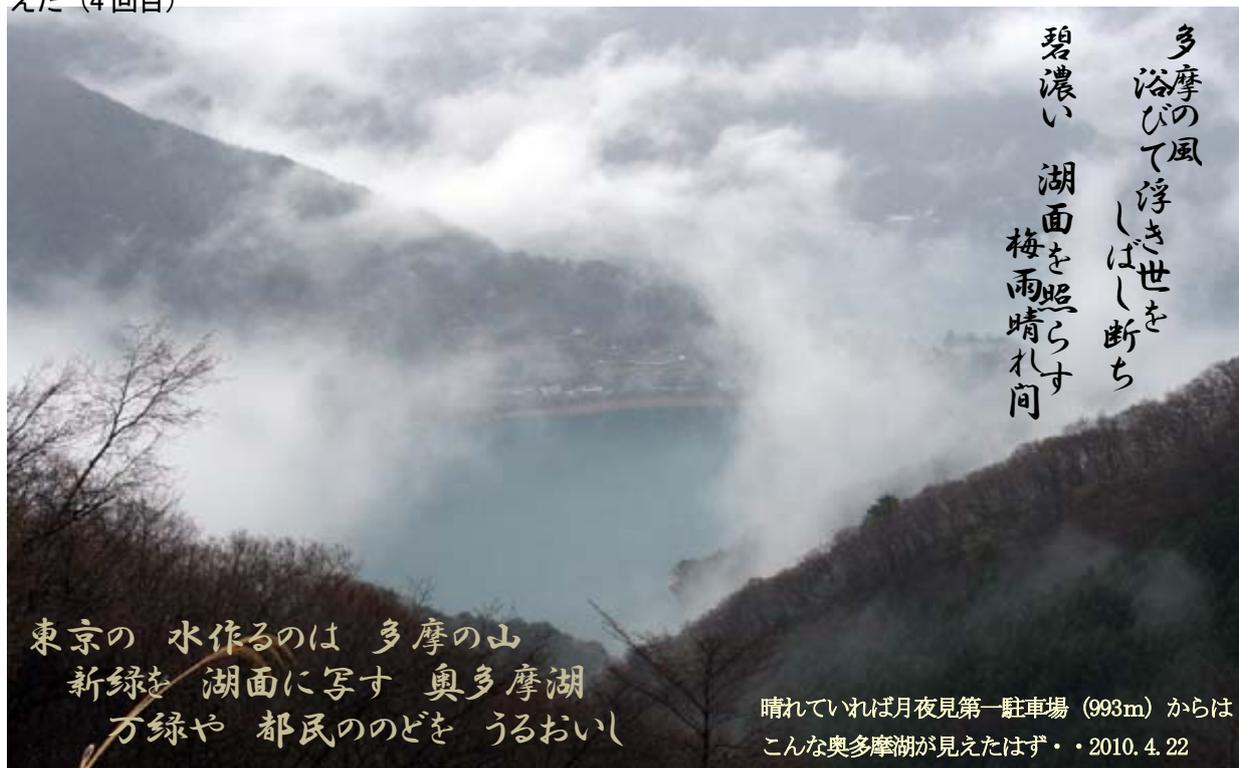
第21回目となるバスツアーは、初めて利根川流域を離れ、東京都東端から西端の小河内ダム（奥多摩湖）、さらには多摩川源流域の山間部を訪れました。多摩川は、江戸・東京に飲料水を供給する河川として機能し、ダム湖の上流域には、水源を保ち河川流量を調整する緑のダムである水源涵養林が広がっています。また丹波川渓谷を遡上する道路には、土砂災害防止のための砂防ダムを多数みることができます。多摩川流域を知ること、利根川流域との相違点、さらに治山治水の重要性を再認識する契機となれば幸いです。

◆多摩川の景観

みなさんのアンケートから 女性○、男性●、(参加回数)です。

| | |
|-------|------------------------|
| 現在の状況 | 6月18日 |
| 貯水位 | 95.54 m |
| 貯水量 | 160828 千m ³ |
| 放流量 | 8.64 m ³ /秒 |
| 貯水率 | 86.7 % |

- 山、また山を大型バスがすいすい、すばらしい景観でした (5回目)
- 濃い緑と淡い緑の峰々の連なり、それに加えてエメラルドグリーンの源流渓谷を眺めながら癒しの思いを強くしたツアーの旅でした (初参加)
- 凸凹の多い渓谷を見て一日楽しみました。緑はいいです (初参加)
- 葛飾を出て、さかのぼって、どんどん上流に向かって、すごい山あい、渓谷に驚きました。とてもよい体験でした。また、今後もこういう勉強会に参加したいです (3回目)
- 広い二子玉川、和泉多摩川、そして山の間を流れる狭い谷。同じ川とは思えないです (7回目)
- 大昔二子玉川(瀬田)の辺で水遊びした頃を思い出させてもらいました。水の流れも速く、深めで水死する人も (初参加)
- 地形面の分布(台地・段丘等)を初めて教わりましたが、この目で確認できました。川の生いたちがすごいものだと感動ものです (初参加)。
- 山の奥に入るに従いV字型の峡谷になる様子がよくわかりました (初参加)
- 利根川水系とは違い、平地部分の流れが短く、丘陵地→山地への急峻に傾斜していく感じが良く分った。又川は深く、反対側のバス席からはほとんど川面は見え、これも丘陵地、台地を流れる川の特徴かと見えた (4回目)



◆小河内ダム（奥多摩湖）

○スライドを見る事により、とてもわかりやすくありがたかった
（初参加）

●ダム完成までの歴史は、日本技術史発展の歴史で、貴重な体験であった（3回目）

●久しぶりの見学でした。展望塔からの眺めは素晴しかったです。命の水が大切に管理されていることを実感できました（5回目）



麦山浮橋 2009. 9. 24

奥多摩湖のふたつの浮橋



留浦浮橋 2010. 4. 22

●ダムの堤は高く、幅広く、かつ厚い。その雄大な景観に感激した。水源林の緑が湖面に映えて美しい（7回目）

○都民に水を送る事に携わっている方々の地味な努力を感じます（3回目）

●水がきれいで（湖面）、空気が新鮮で、静かなところで、気分が落ちつくようでした。ダム建設の背景から今日までの歴史的経緯、機能が良く分かりました（3回目）

○美しい景色の裏に移住を余儀なくされた人々の哀しみを感じ感無量でした。多摩の方々のお陰で安心して暮らせることに感謝しなければいけませんね（11回目）

●ダムに沈んだふるさとを偲ぶ碑がありました。その後どういう人生を歩んだか？ 知りたい気持ちです（12回目）

●芥川賞第11回作『日陰の村』石川達三の作品。遠い昔読んだのを思い出しました。当時の村民の生活、ダム工事が進むにつれ、保証金が入って人の心がゆれ動くさま（3回目）



事務係長 並木堅次さんの説明

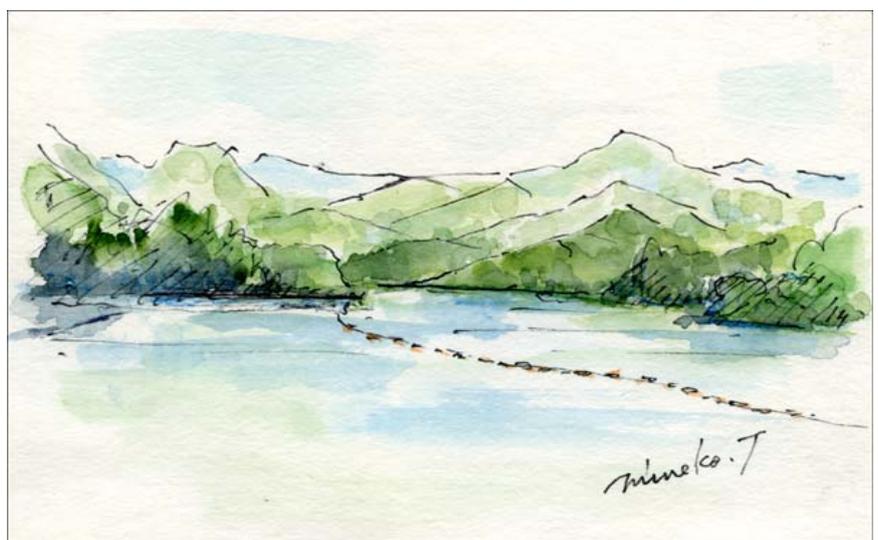


展望塔



水と緑のふれあい館

小河内の 風になりたや 山ぼうし 雲上人？



いただいたお葉書から 画 田口峯子さん

| TOUR DATA | | |
|-----------------------|----------------|------|
| 時間 | 経過 | 滞在時間 |
| 7:27 | 博物館出発 | |
| 7:40 | 四つ木IC | |
| 8:10 | 板橋JCT | |
| 8:18 | 西新宿JCT | |
| 8:42 | 石川PA | 10分 |
| 9:00 | 八王子JCT | |
| 9:15 | 青梅IC | |
| 10:25 | 小河内貯水池管理事務所 | 35分 |
| | 昼食・水と緑のふれあい館 | 90分 |
| 13:10 | 尾崎行雄水源踏査記念碑 | 12分 |
| 13:33 | 道の駅たばやま | 30分 |
| 14:20 | 深山橋通過 | |
| 14:53 | 檜原都民の森 | 23分 |
| 16:20 | 日の出IC | |
| 16:34 | 狭山PA | 14分 |
| 16:35 | 大泉・川口JCT～四つ木IC | |
| 18:26 | 博物館到着 | |
| 内山観光バス：フェニックス号 | | |
| ドライバー：戸田純・河田幹也さん | | |
| 走行距離：314 km | | |
| 応募84人、キャンセル3名 当日参加47名 | | |
| 参加費2300円うち見学実費0円 | | |

◆丹波山溪谷と尾崎行雄水源踏査記念碑

- 交通機関もない中、大変な思いをして、都民のために踏査したことに敬服しました（初参加、ほか多数）
- 尾崎先生は先を見る目があったのでしょうか。水源林を現代の時代に反映させるのはすごい（初参加、ほか多数）
- 谷が深くとても東京からの近場とは思えない風景でした。100年の計が東京の水を確保している。長い先を見る政治力が必要（初参加）
- 多摩川の最奥部迄いけてよかった（8回目）
- 孫を連れてきたいと思いました（6回目）
- あの辺の河原において、実際に清流にふれてみたかった（初参加）

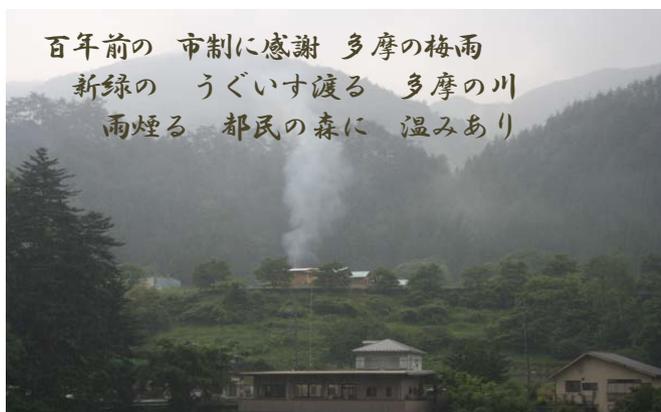


丹波川に小室川が合流する三条橋付近



◆奥多摩周遊道路と秋川溪谷

- 霧の小河内もおつな感じで大変よかった（初参加）
- 奥多摩湖から山歩きしたいです（初参加）
- 緑々ただただ目の休養と昔の田舎を思い出します（初参加）
- 機会があったら元気なうちに奥多摩湖一周に挑戦してみたいと思いました（初参加）
- これからも都民の憩いの場であってほしい（4回目）
- 道路が良く整備されていました。秋川溪谷は深く、川原に行けないのが残念です（8回目）
- 久しぶりの秋川溪谷。こんどゆっくり都民の森に行ってみたいです（4回目）
- 墨絵のような秋川溪谷の山々。車窓から堪能しました（7回目）
- 先々を見越した気概ある政治家が今居れば！（14回目）
- 深い谷からの激しい流れ。巨石の重なり、険しい断崖、小石コロコロの河原、見ごたえ十分（7回目）



百年前の 市制に感謝 多摩の梅雨
新緑の うぐいす渡る 多摩の川
雨煙る 都民の森に 温みあり

雨に煙る丹波山村 道の駅たばやまからの眺望

- 事前に勉強会を開催することによって、ツアー先の予備知識が得られることは有意義です（初参加）
- 私は多摩方面がすべてはじめてでしたので、すべてよかったです（2回目）
- 葛飾とは外れますが、都心の洪水対策施設の見学は出来ませんか（14回目）

ツアー後記

東京都の東端から西端への大移動、東京低地とはまったく異なる多摩川源流の景観はいかがでしたか。水源踏査記念碑の見学の終了を待っていたかのように降り出した雨。山は急激に姿を消し、深山の幽谷を見ることができました。次回のバスツアーは1947(昭和22)年9月のカスリーン台風の水害教訓を予定しています。渡良瀬遊水地・首都圏外郭放水路を見学の予定です。お元気で梅雨を乗り切ってください。

担当学芸員 橋本直子 博物館専門調査員 富澤達三 補助 勝田真幸



葛飾区郷土と天文の博物館
〒125-0063 東京都葛飾区白鳥3-25-1
TEL 03(3838)1101 <http://www.city.katsushika.lg.jp/museum/>